

白馬村図書館基本計画

平成 2 8 年 4 月

白馬村教育委員会

○はじめに

平成10年に、旧法務局の跡地を利用して開設された白馬村図書館も、開設から18年を迎えました。その間、少子・高齢社会や、国際化、高度情報化の進展など、社会経済情勢は急激に変化しています。そこで、時代のニーズに対応した図書館施策を展開することが求められていることから、白馬村図書館条例に定める館長の諮問により図書館協議会において新たな基本計画を策定することとし、その内容の精査を行って参りました。この計画は、村民にとって本当に必要で役に立つ図書館とは何か、また、図書館が目指す将来像や機能を踏まえ、今後の白馬村図書館サービスの方向性を具体的に示したものであります。

白馬村教育委員会はこの計画を十分尊重し、白馬村図書館づくりの基礎となる以下5つの項目の実現に向け、「白馬村図書館基本計画」を策定します。

- ① **子ども達の成長に役立つ図書館**
- ② **人づくりに役立つ図書館**
- ③ **暮らしに役立つ図書館**
- ④ **地域おこし、まちづくりに役立つ図書館**
- ⑤ **文化振興に役立つ図書館**

《目次》

1. 白馬村図書館の概要と計画の目的	3
2. 白馬村図書館の現状と課題	3
3. 課題の解決の方向性	5
4. 計画の位置づけと期間	6
5. 白馬村図書館の運営理念	6
6. 白馬村図書館の運営方針	6
7. 運営方針に基づく主な施策	7
7-1 子ども達の成長に役立つ施策	7
7-2 人づくりに役立つ図書館に関する施策	9
7-3 暮らしに役立つ図書館を目指す施策	10
7-4 地域おこし、まちづくりに役立つ図書館を目指す施策	12
7-5 文化振興に役立つ図書館を目指す施策	13
7-6 その他の施策	14

1. 白馬村図書館の概要と計画の目的

元々は法務局であった建物を後利用する形で供用が開始された白馬村図書館も開設から18年を迎えました。施設自体が図書館のために建設された建物ではないことから、これまで他自治体の公共図書館と同等のサービスが提供できるよう利用者の利便性の向上や、蔵書の収集・増加等の改善に努めて参りました。その中で、平成21年度にはようやく課題であった図書館システムの導入が完了し、蔵書冊数はまだまだ全国平均（6万～7万冊）には足りないものの、公共図書館として最低限のサービスの提供が可能な体制が整いつつあります。

しかしまだまだ公共図書館として行き届かない点も多いことから、今回の図書館基本計画は、今後の白馬村の図書サービスにおける展開と発展を図るため、白馬村図書館の理念や運営方針を改めて見直し、住民に必要な情報を提供し、住民の活動を支援し、住民が利用しやすく、本当に役立つ図書館として、現状実施しているサービスの水準を維持しつつ様々な視点から図書館サービスの充実を図ることを目的としています。

2. 白馬村図書館の現状と課題

1. 白馬村図書館の現状（平成27年3月31日現在）

開 設 平成10年10月8日

旧大町地方法務局白馬支局の建物を後継利用する形で開設

施 設 昭和62年12月10日築 鉄筋コンクリート造

1階 285.23㎡ 2階 188.58㎡ 計 473.81㎡

うち、図書館占有面積 398.2㎡

職 員 3名 1日2名勤務体制

（遅番、早番制。職員が一人きりになる時間帯が存在する。）

開館時間 午前9時から午後6時まで

休 館 日 毎週月曜日、祝日、年末年始、館内整理休館日（毎月最終金曜日）、特別整理休館日（蔵書点検期間）

蔵書冊数 47,194冊 （開架図書22,664冊、視聴覚資料252点）

→55,962冊 （開架図書25,726冊、視聴覚資料475点）＜令和元年度末時点＞

新聞 朝日新聞・信濃毎日新聞（1年間保存）

大糸タイムス（平成11年より保存）

白馬新聞（平成11年11月5日から平成20年最終号まで保存）

2. 実施している図書館サービス

- (1) 貸出 一人10点（うち視聴覚資料3点）まで 貸出期限3週間
- (2) レファレンス 情報を求める利用者に提供
- (3) 相互貸借 利用者の求めに応じ、図書館間での貸借受業務の実施
- (4) 団体貸出 村内の団体へ60日間100冊までの貸出を実施
- (5) 利用者開放用インターネット端末の設置 1台
- (6) インターネットからの予約サービス

※レファレンス（レファレンスサービス）とは図書館利用者が必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員が情報そのもの、あるいはそのために必要とされる資料を検索、提供等することによってこれを助ける業務を指す。

3. 図書館ボランティア

- (1) 登録者数 8人 <令和元年度末時点：6人>
- (2) 活動内容 ・館内整理休館日での蔵書整理など
・特別整理休館中の蔵書点検の手伝い

4. 白馬村図書館の主な課題

- 建物自体の目的が図書館として建設されたものではないため、図書館としての機能を有した施設整備
- 高齢者や体の不自由な方でも利用しやすいサービス、施設の整備
- 常時2名以上の勤務を確保し、職員が一人きりになる時間をなくす。
- 専任の館長、正規職員の配置。
- ボランティアの館内業務補助の再開及び業務用端末の充実。
- 蔵書の充実と、それに伴うスペースの確保及び企画等を実施するスペースの確保。
- 雑誌の購入・新聞の点数の拡大。
- オンラインデータベースの導入。
- 村誌のデータ版を作成。書誌データの補強入力作業。
- 行事、集会、講演会、読書会等の実施。
- 子ども読書活動の推進。（計画含む）

3. 課題の解決の方向性

1. 職員の体制について

常時2名以上の勤務は、開設以来の課題です。図書館サービスの充実に伴い、職員の負担も増加していることから、職員体制の整備については、最優先の課題として解決に努め、職員が一人きりになる時間帯の解消に努めます。

→フルタイム司書2名とパートタイム（週2日勤務）司書1名による勤務体制が続いています。開館日は常に早番・遅番の2名体制で、12時～14時の間に交代で取る昼休憩、9時～9時30分及び17時15分～18時は1名勤務です。

2. 蔵書冊数の増加と、それに伴うスペースの確保について

白馬村図書館は、限られた予算の中で資料の充実に努め、白馬村図書館の特徴ある資料収集の取り組みなども行ってきましたが、図書館のネットワーク化が進み、相互貸借事業等、図書館を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような状況変化を踏まえ、今後の蔵書計画等を作成し、資料の効率的収集に取り組みます。さらに、地域の人口構成や、貸出の頻度等を検証し、住民のニーズにできるだけ応えることのできる図書館にしていきます。

→蔵書計画は作成しないまま現在に至っています。貸出頻度・住民ニーズの把握も含めて、早急に計画を作成できるよう努めます。

3. 白馬村図書館独自の企画

図書館を住民により活用していただくものとするために、図書の貸出といった機能のほかに、図書館、また本そのものに親しんでいただくようなサービスの企画を検討します。

現状では館内に十分なスペースを確保できないため、イベントのためのスペース確保ができないので本に親しむきっかけとなる一助として特設展示コーナー等の設置に努めます。

→各種行事や時事に合わせた特設展示コーナーを設置しています。今後は周知（情報発信）にも努め、さらに来館者を増やすような取組みも検討します。

4. 施設整備について

図書館のスペースが限界にきていること、図書館としての機能が充足されていないことから、収納スペースの見直しを行うとともに、蔵書の充実、施設の充実を目的に施設更新を視野に入れた改善を検討します。

→図書館等複合施設基本計画を策定し、白馬駅を最優先候補地としました。

子育て支援機能も含めた複合施設としての整備を目指し、官民連携の可能性も含めて検討を継続しています。

4. 計画の位置づけと期間

①本計画は、第5次総合計画及び平成27～29年度実施計画に基づく、分野別個別計画として策定します。

②計画は平成28年度を初年度として、平成32年度までの5年間とします。なお、この期間中において、達成の状況、社会環境の変化等を踏まえ、必要があれば見直しを行うこととします。

5. 白馬村図書館の運営理念

「村民のくらしを支援し、まちづくりに役立つ図書館をめざします。」

社会環境が著しく変化している中で、住民が自らの問題を自ら考え、自ら意思決定していくために正確な「知識」「情報」を入手する必要は高まっています。

白馬村図書館は、住民が必要とする資料や情報を迅速かつ確実に提供するために標記の運営理念を掲げ、その実現・具体化のため、次の運営方針を定めます。

6. 白馬村図書館の運営方針

住民の「知る権利」を守り、その必要とするあらゆる情報を提供するために、次のように運営方針を定めます。

- 1 子ども達の成長に役立つ図書館を目指し、子ども達の豊かな心と生きる力を育むことを支援します。
- 2 人づくりに役立つ図書館を目指し、レファレンスやデータベースの充実を図ります。
- 3 暮らしに役立つ図書館を目指し、高齢者や体の不自由な方はもとより観光で白馬を訪れた方でも立ち寄りやすい施設、サービスの充実を図っていきます。
- 4 地域おこし、まちづくりに役立つ図書館を目指し、地域資料の収集や地域との連携を図り、専門資料の充実にも尽力します。
- 5 文化振興に役立つ図書館を目指し、行事の充実や村民の村政参画を積極的に支援するための資料収集に努め、村活性化の一端を担えるようサービスの充実を図ります。

7. 運営方針に基づく主な施策

- 1 子ども達の成長に役立つ図書館を目指し、子ども達の豊かな心と生きる力を育むことを支援します。

○子ども読書計画を策定します。

主な施策・事業項目	概要	評価
子ども読書計画の策定	子ども達の豊かな感性や人間性を育むため、「子ども読書計画」を策定し、子ども達の読書活動をサポートしていきます。	「子どもの読書活動推進に関する法律」にて努力義務が定められていますが、未策定です。新たな複合施設を見据えて現状の調査と分析を行い、発達段階に応じた家庭・地域・学校等における取り組みを検討します。

*長野県内の町村の策定率は、H25 時点で約 50%でしたが、見直しがされない町村もあり H31 時点では約 30%となっています。(長野県の目標値:令和6年度 町村の策定率 70%)

○子育てを応援し、子どもの交流機会に関する情報を提供します。

主な施策・事業項目	概要	評価
これからお父さん、お母さんになる方への育児本の紹介	初めての出産を前に不安を抱えた母親と父親になる方に、これからの育児に役立つ本の紹介を行う。	平成 29 年度に「赤ちゃん」「子育て支援」「高齢者支援」に 30 万円の予算を計上し、翌年度以降も 10 万円ずつ関連図書購入に充てています。

幼児を対象とした絵本の紹介	0～3歳程度の幼児を対象とし、所蔵図書から絵本を選定。併せて館内での掲示紹介と配布リストの作成を実施します。	てぶくろの会選定絵本・ブックスタート絵本等を掲載した8ページの冊子を作成し、配布しています。
児童、生徒の読書活動支援	学校図書館と連携し、読書感想文用図書の紹介などを検討する。	青少年読書感想文全国コンクールの課題図書を揃えるとともに、学校からの求めに応じて協力しています。

○幼児、学童期における読書習慣の定着を目指します。

主な施策・事業項目	概要	評価
「読み聞かせボランティア」との連携と研修体制の整備	読み聞かせボランティアと連携し、子ども達への読書習慣定着の一助となるよう近隣の動向を踏まえながらより利用しやすい方法を検討します。	スペースの関係で館内では開催していませんが、子育て支援ルームで月1回程度活動いただいています。
図書館内での読書会等の開催	子どもを対象とした読書会等を企画します。	空間的に館内での開催は難しいですが、実施方法等を検討します。

○白馬村図書館の持つ専門性や経験を活かして学校教育活動を支援します。

主な施策・事業項目	概要	評価
人と人や団体間とつなぐ役割を果たせる機関の構築	学校教育現場を主体に、書籍や情報を通じた人と人や団体間をつなぐ役割を果たせる機関となるよう、図書館の位置づけ再構築の情報発信を行います。	未実施。 今後検討します。

学校や学校図書館との連携について検討	学校司書と連携して学校図書館への支援を協議し、長期休業中の課題等を事前に把握して必要な資料の提供等、支援できる体制を目指します。	依頼があった場合に協力する体制を築いています。
学校と図書館情報の相互提供	蔵書目録データの共有を検討し、学校と図書館が互いに蔵書情報を共有できる体制作りを目指します。また、除籍予定図書の情報共有して希望する館への移譲を検討します。	未実施。図書館の蔵書はオンラインで検索可能ですが、学校図書はExcel等で管理しています。
子どもの視点に立った図書館構築	立ち寄りやすさ、使いやすさ、子ども向け図書の充実等、子どもの視点に立った図書館の構築を目指します。	スペースの関係上難しい状況です。放課後の居場所として、道路で遊ぶ、長時間滞在するなどの課題もあります。

2 人づくりに役立つ図書館を目指し、レフェラルサービスを含むレファレンスやデータベースの充実を図ります。

※レフェラルサービスとは、図書館利用者の依頼に対して図書館職員が、利用者が必要とする情報の情報源となりうる人や機関、組織等を紹介するなどの業務を指します。

○生活上の問題を解決するために健康・医療情報、法律情報、行政施策情報等を提供します。

主な施策・事業項目	概要	評価
行政情報のデータベースの充実と情報提供	行政関係の紙媒体の資料を収集し、情報提供に努めます。また、総務課と連携しながら情報公開に対応できる公文書等行政情報のデータベース化を検討します。	行政関係の資料は紙媒体で収集していますが、データベース化は未実施です。
電子メールによるレファレンスサービスの充実	電話や来館できない利用者、電子検索システムを利用できない環境にある利用者からメールでのレファレンスを受けます。	実施しています。 (毎年数件の実績あり)

利用者用館内 ウェブ環境の 整備	図書館来館者が資料の検索や情報の収集を行えるよう、インターネット接続パソコンの機能を強化し、セキュリティ等のリスク分析を行って無線 LAN 接続拠点の整備を進めます。また、情報活用能力の向上に寄与する活動も実践します。	インターネット接続端末は設置していますが、利用頻度は高くありません。 セキュリティ等も含めて多くの費用を要するため、新図書館施設建設時の対応を予定しています。
雑誌・新聞の購入	現在購入している新聞の外、購読する新聞の増加、雑誌の購入について検討します。	寄贈を受けるものもありますが、不定期であるため配架が難しい状況です。 今後、雑誌スポンサー制度の導入等を検討します。

○人間性、社会性を育む活動を支援します。

主な施策・ 事業項目	概 要	評 価
職場体験及び 教職員研修等 の受入体制の 充実	通常業務に支障がないようにするための職員数を確保し、中学生の職場体験、高校生以上のインターンシップ、教職員等の異業種研修等を受け入れられるよう環境の充実を図る。	中学生の職場体験及び教職員研修は受け入れています。

○村民のライフスタイルや読書要求に対応した図書館サービスネットワークを構築し、それを充実させる。

主な施策・ 事業項目	概 要	評 価
---------------	-----	-----

<p>県立図書館、公共図書館、大学図書館との相互協力サービスの充実</p>	<p>白馬村図書館に所蔵がない場合、他の公立図書館等の所蔵状況を検索し、資料があった場合は、資料を借受けて利用者に提供しています。他の図書館にない資料が白馬村図書館にある場合は、白馬村から貸出を行っています。こうした協力を行うことで、それぞれの不足を補いながら利用者サービスに努めています。</p>	<p>相互貸借は多くの方にご利用いただいています。引き続き周知にも努めます。</p>
---------------------------------------	---	--

3 暮らしに役立つ図書館を目指し、高齢者や体の不自由な方はもとより観光で白馬を訪れた方でも立ち寄りやすい施設、サービスの充実を図っていきます。

○多くの村民に図書館を利用させていただくために広報活動を強化します。

<p>主な施策・事業項目</p>	<p>概要</p>	<p>評価</p>
<p>図書館広報の充実</p>	<p>現在の広報はくばの内容の充実について検討し、教育委員会、総務課と連携しながらデジタルアーカイブ化の検討を進めます。また、図書館ホームページの適正な維持管理を行い、利用者の利便性の拡大を図ります。</p> <p>※デジタルアーカイブとは図書館等の収蔵品を始め有形・無形の文化資源等をデジタル化して保存等を行うことを指します。</p>	<p>広報紙については総務課でデジタルブック化してホームページ上にアーカイブしています。平成30年度に白馬村図書館の Facebook ページを開設し、各種お知らせ等を投稿しています。</p>
<p>図書館案内の配布</p>	<p>図書館案内、図書館登録申請書を配布します。</p>	<p>利用案内は、大北地域全館で相互に設置済みです。</p>

○就労支援、ビジネス支援に関する情報を提供します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
求人情報の閲覧	利用者インターネット端末等を用いてハローワーク等の求人情報を提供します。	利用者情報検索端末でハローワークのサイトを閲覧することは可能です。利用促進のための取組みについても検討します。
ビジネス支援、就労支援書籍の充実	村内における主産業であるサービス業、観光業、土木、経理、パソコンなど、利用者のニーズに沿った図書を継続的に収集し毎年最新版が揃う環境に必要な予算を検討します。	インバウンドも含め、観光を中心としたサービス業に関する本の収集に努めています。一般の書籍と同じ棚に配置していますが、頻繁に活用されている状況ではないため、展示方法なども含めて検討します。

○観光・農業や商工業など、地場産業関係の情報を紹介します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
村観光局、観光課等との連携	村担当課と連携し、観光パンフレットの設置や無線 LAN 環境の整備を検討し、雨天時の観光資源としてのマーケティングや観光情報の提供を検討します。	無線 LAN については上述のとおりです。令和元年度にノート PC にも電源供給できるモバイルバッテリーを購入しました。観光や農業など産業部門との連携は今後検討します。

○高齢者や障がい者、外国人など、すべての住民がいきいき暮らせるための情報を提供します。

主な施策・事業項目	概要	評価
障がい者や高齢者等へ宅配サービスの実施	障がい者や高齢者について、状況に応じたサービスが提供できるよう検討します。	令和元年度に職員研修として認知症サポーター講座を受講しました。来館者の個々の事情に丁寧に対応するよう心がけています。関係団体との連携等についても検討します。
点字・録音図書の収集・貸出、図書の朗読の実施	障がい者サービス用資料は、所蔵の充実、相互貸借等、様々な方法で利用者の要望に応えていきます。また、対面朗読のボランティアについて検討します。	平成 29 年度より朗読 CD を購入しています。リーディングトラックーを購入したため、活用を検討します。
車いす利用者の来館支援	冬期でも駐車場から図書館までスムーズに通行できるよう融雪等、車イスでの来館を支援します。	こまめな除雪作業の実施に努めています。
拡大鏡の導入	視覚障害者や高齢者に対応するため、拡大鏡の導入実績とその効果を調査し、導入に向けて検討をします。	ルーペ・老眼鏡は設置しています。
外国語表記の本の収集と貸し出し	充実に向けて収集を継続します。	外国語書籍の寄贈を受け入れています。外国人住民は増加しているため、村内のニーズや他館の状況を調査し、必要に応じて充実を図ります。

本を媒介として村内で活動しているグループ、サークルの支援	公民館等と連携し、本を媒介としたグループ、サークルを支援します。	公民館講座受講者が関連本を探しに来館することがあります。 本または図書館が媒介となるような取組みも検討します。
------------------------------	----------------------------------	--

○村民の声を図書館運営に反映させる仕組みを構築します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
村民の視点に立った図書館サービスの見直し	来館者の声を図書館サービスに反映できるよう意見の収集、把握、検討を継続します。併せて無線 LAN 接続拠点として整備が完了した場合は接続時にアンケート画面での回答を必須とするなどの手法も検討します。	無線 LAN を活用したアンケートは難しい状況ですが、様々な形で声を拾えるよう検討します。新聞折込チラシを見たいとの声があり対応した例もあります。

4 地域おこし、まちづくりに役立つ図書館を目指し、地域資料の収集や地域との連携を図り、専門資料の充実にも尽力します。

○村民の課題解決と主体的な学習を支援する情報を提供します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
蔵書計画の整備と計画的資料収集の実施	分野や利用者の年齢構成、地域特性、流行等を考慮した蔵書計画（資料収集要綱）を作成し、計画的に資料収集を行います。	蔵書計画は未策定です。現状を把握・分析した上で、早急に蔵書計画を策定できるよう努めます。

○村民の情報活用能力の向上を図ります。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
情報活用能力向上への取り組み	インターネットや図書検索システムを使った図書館の活用について周知します。	感染症対策として、インターネット予約を呼びかけましたが、利用はありませんでした。引き続き周知を図ります。

○郷土の歴史や地域文化、伝統文化など、白馬村の歴史や文化に関する情報を収集し、紹介します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
「白馬・山とスキーの総合資料館」との連携	「白馬・山とスキーの総合資料館」（八方文化会館内）の蔵書データベース化について支援し、白馬村図書館との連携について検討します。	未実施です。山とスキーの総合資料館の意向も確認し、連携領域を模索します。
村ゆかりの著作の収集と展示コーナーの充実	白馬村にゆかりのある著作、山岳とスキー文化に関する書籍等を展示するコーナーを作り紹介しています。これらの著作に接する事により、村の理解を深め、愛着を感じてもらえるよう、充実を図ります。	「山の日」コーナーとして山岳とスキー文化に関する書籍等を展示しています。白馬村に特化した展示は実施していないため、今後検討します。

→平成 30 年 7 月に県立長野図書館・北アルプス地域振興局・白馬村役場総務課とウィキペディアタウン in 白馬を開催しました。

5 文化振興に役立つ図書館を目指し、行事の充実や村民の村政参画を積極的に支援するための資料収集に努め、村活性化の一端を担えるようサービスの充実を図ります。

○各年齢層、利用者層に応じた蔵書書籍の充実を図ります。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
図書選定委員会 会の設置	図書選定委員会の設置を予算面含め、検討します。	現時点では未設置です。 蔵書計画の策定と併せて選定委員会の設置を検討します。

○村活性化の一助として、利用者からの問い合わせに対して迅速な対応ができるよう、各データ補強を行います。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
書誌データの 補強	蔵書検索の精度向上のため、ボランティアに協力を依頼し、書誌データの補強作業実施を検討します。	作業スペースや端末の関係で実施できていませんが、引き続き検討します。

○蔵書等を活用し、様々な文化や芸術作品に出会う機会を提供します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
視聴覚資料の 充実	CD・DVD等については、ジャンルが多岐にわたり、作品も膨大な数があります。単価も高いため、予算や他の資料との兼ね合いの中で継続購入実施について検討します。	毎年20万円の予算を確保し、継続して購入しています。著作権処理済みのソフトが必要であるため、寄贈は受けていません。

○心を豊かにする文化や芸術に触れる機会に関する情報を提供します。

主な施策・事業項目	概 要	評 価
-----------	-----	-----

<p>季節、行事図書 の充実</p>	<p>季節や年中行事などに関連した図書の収集を実施し、課題図書や企画対応図書の収集と提供を検討します。</p>	<p>季節や行事に関連した図書を集めたコーナーを設けています。多くの方に知っていただけるよう発信にも力を入れていきます。</p>
------------------------	---	--

6 その他の施策

<p>主な施策・ 事業項目</p>	<p>概 要</p>	<p>評 価</p>
<p>図書の有効利用</p>	<p>白馬村図書館で重複している図書、役割を終えた図書をさらに有効活用するため、村民や学校図書館に無料で提供します。</p>	<p>令和元年度の白馬村文化祭、保健福祉ふれあいセンター、図書館等で不要本の無償提供を行いました。</p>
<p>図書館施設整備の検討</p>	<p>図書館としての機能、役割を充足できる施設とは言いがたい現在の白馬村図書館について、スペースも限界にきていることから、現在の収納スペースの見直しを行うとともに、現在の施設の増改築、新図書館の建設について調査・検討を行います。</p>	<p>令和元年度に図書館等複合施設基本計画を策定し、白馬駅を最有力候補地として検討を進めています。</p>
<p>図書館予算の充実</p>	<p>図書館業務を充実させ、利用者に十分で過不足のないサービスが提供できるよう、教育委員会事務局を通じて新施設の建設に関する調査検討を含め調整をし、各種予算の検討を図ります。</p>	<p>村の財政状況から増額は難しい状況ですが、関連財源の確保も含めて引き続き予算の充実を図ります。</p>

白馬村図書館基本計画



発行日 平成 28 年 4 月

発 行 白馬村図書館

長野県北安曇郡白馬村大字北城 7025

電話 : 0261-72-5200 (代表)